

山陰道「多伎・朝山道路／朝山・大田道路」

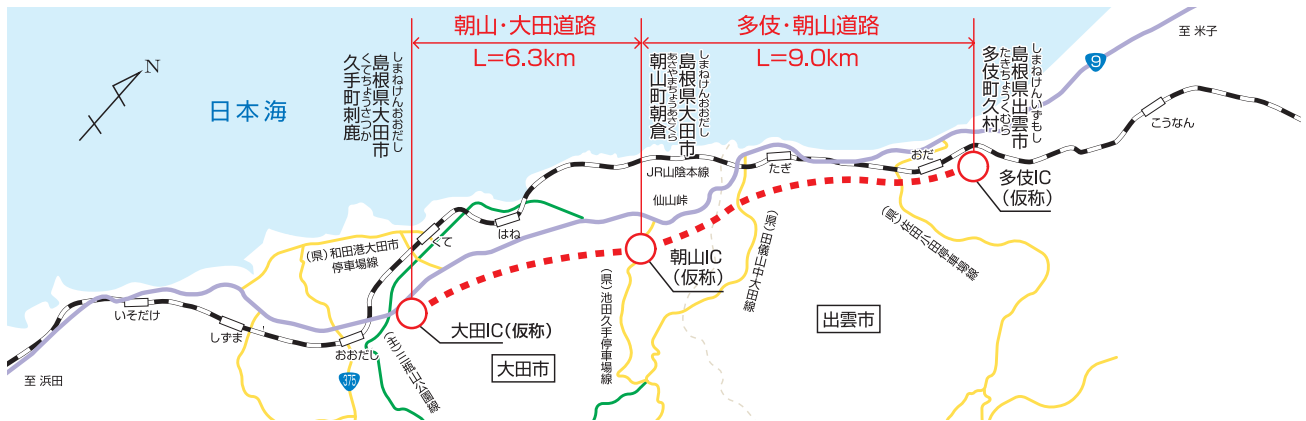
現状と課題

■危険個所を回避し安全なルートを形成

国道9号の出雲市と大田市境の「仙山峠」付近は急カーブが連続し、交通事故が多発するなど、交通の難所となっています。また平成18年7月には地滑り災害も発生し、全面通行止めが発生するなど、主要幹線道路としての機能に支障をきたしています。このような課題を解決するため、多伎・朝山道路及び朝山・大田道路の整備を一体的に進めています。

事業概要

■路線図



今年度の事業

■多伎・朝山道路

用地買収を推進し、工事用道路及び橋梁下部工事をを行います。

■朝山・大田道路

用地買収を推進し、埋蔵文化財発掘調査及び工事用通路の整備を行います。

期待される整備効果1

■安心・安全で確実な移動確保

国道9号と並行することによって交通を分割することができ、事故発生による渋滞箇所を避けて通行することができます。また国道9号の線形不良個所を避けて救急搬送することができるため、安全で速やかな搬送をすることができます。



線形不良箇所（大田市朝山町R=100m）



大型車による交通事故（大田市朝山町）



出雲市多伎町付近の通学状況



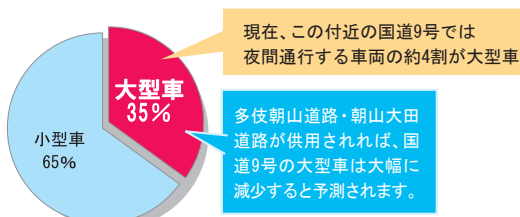
急なカーブを走行する救急車両（出雲市多伎町）

期待される整備効果2

■沿道の環境が改善されます

長距離大型車両が多伎・朝山道路、朝山・大田道路に転換することで、国道9号沿線では騒音・排気ガスの低減、歩行者の安全確保など、生活環境の改善が図られます。

夜間12時間（19:00～7:00）の大型車混入率



※大型車両混入率：H17道路交通センサス（区間番号1018）



多くの大型車が通行する夜間の国道9号（出雲市多伎町）